

株主の皆さまへ

## 第65期 第2四半期株主通信

2012年3月期 第2四半期連結累計期間 [2011年4月1日~2011年9月30日]

### Contents

- 01 トップメッセージ
- 03 事業の概況
- 06 業績の概況
- 07 TOPICS
- 08 こんなところにIDEC
- 09 会社概要および株式の状況

IDEC株式会社

証券コード 6652

*Think Automation and beyond...*

A close-up, angled view of a grey control panel with a brushed metal texture. It features four large, oval-shaped buttons with colored lenses: a blue button at the top, a white button to its right, a green button at the bottom left, and a red button at the bottom right. A black line runs along the top edge of the panel.

# 株主の皆さまへ

皆さまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。  
2012年3月期 第2四半期の業績概況についてご報告申し上げます。

## IDEC Identity

なんのための技術開発か。  
誰のためのものづくりか。

私たちは、「技術」と「想い」をちからに、  
人と機械が触れ合うその接点に、  
いくつもの「安心」と「信頼」を創造してきました。

期待してくださるお客さまがいる限り、  
安易な代替案には、決して妥協しない。  
二番煎じはせず、常に独創的なものをつくる。

創業以来、変わらないこの価値観とともに、  
さらなる挑戦を。

私たちはIDECグループです。

代表取締役会長兼社長

船木俊之

## 不透明な外部環境の中、着実に成果を積みあげていきます。

Q1

2012年3月期第2四半期の経営環境について教えてください。

A1

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、中国を中心としたアジア地域にて堅調な成長を維持したものの、金融引き締めによる成長率の鈍化、欧州地域における財政問題の深刻化の影響などに

より、不透明感が増す状況となりました。一方、国内においては、急激な円高の進行による企業収益悪化への懸念が強まったものの、東日本大震災の影響による生産活動の停滞から徐々に持ち直しの傾向が見られました。当社グループが所属する社団法人日本電気制御機器工業会の出荷高につきましても、前年同期に比べて、国内出荷高の増加が牽引し全体では増加となりました。

いまだ不透明な環境下ではありますが、当社グループにおいては、当連結会計年度を2年目とする中期経営計画に基づいて、スイッチ事業のシェア拡大、販売重点エリアである中国の事業拡大と体質強化、LEDを中心とする社会ニーズに対応した環境関連ビジネスの推進に取り組んでおり、着実な企業価値向上の成果につながっていきます。

## Q2 2012年3月期第2四半期の業績について教えてください。

**A2** 当第2四半期連結累計期間における当社グループの国内売上高は、主力の制御用操作スイッチをはじめとする制御機器製品の需要拡大に加え、節電対策ニーズを受け、LED関連製品が好調に推移したことなどにより、前年同期に比べ、16億2千4百万円増収の111億2千9百万円（前年同期比17.1%増）となりました。また、海外売上高は販売重点エリアである中国を中心としたアジア地域の好調を受け、前年同期に比べ、1億4千2百万円増収の58億6千1百万円（前年同期比2.5%増）となりました。その結果、グループ全体の売上高は、前年同期に比べ、17億6千6百万円増収の169億9千万円（前年同期比11.6%増）となりました。

利益面においては、営業利益は、増収効果による利益の増加により、前年同期に比べ2億3千2百万円増益の17億3百万円（前年同期比15.8%増）となりました。経常利益は、前年同期に比べ、3億3千5百万円増益の15億7千3百万円（前年同期比27.1%増）となりました。四半期純利益は、前年同期に比べ、2億7千6百万円増益の10億7千7百万円（前年同期比34.6%増）となりました。

中期経営計画の2年目である当連結会計年度

### ■ 2012年3月期 連結業績予想

売上高 **34,000**百万円

営業利益 **4,000**百万円

当期純利益 **2,400**百万円

では、引き続き重点テーマを着実に推進し、成果を積み上げていくことで、2012年3月期においては、売上高340億円、営業利益40億円、当期純利益24億円と予想しています。

## Q3 LED事業拡大に向けた今後の取り組みについて教えてください。

**A3** 当社グループでは、省エネルギー、長寿命など、LEDという新しい光源がもつ大きな可能性にいち早く着目し、さまざまなLED関連製品の開発に取り組んできました。

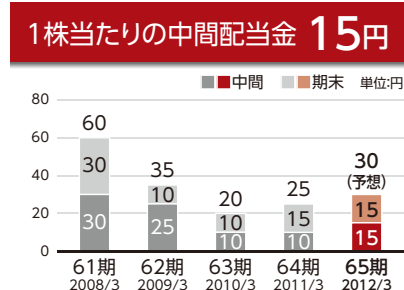
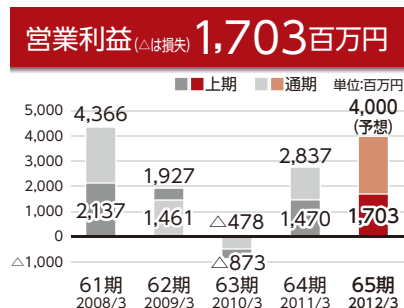
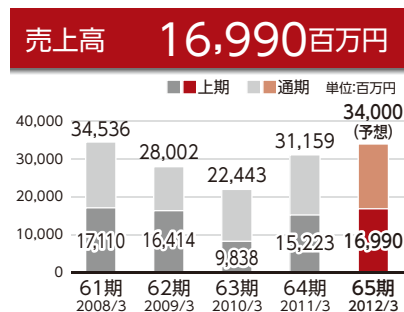
現在、国内市場においてLED関連製品は、省エネ・省電力化対策として急激に需要が拡大しています。当社においても、商業施設用LED照明が大幅に伸長し、また、産業施設用LED関連製品も堅調に推移しています。

このような市場環境の中、さらなる事業拡大に向けて、新たに浜松事業所に生産機能を集約するとともに、新工法によるプロセスの合理化、モジュール自動生産ラインの整備を進め、画像処理技術を活用して検査工程を含めた一貫生産システムを構築します。これにより、大幅なコスト削減を実現し、さらなる価格競争力の強化を実現していきます。

このような取り組みを進め、中期経営計画でのターゲットでもある通期売上高30億円を目指します。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2011年11月



## 事業の概況



# 全般的に増加基調で推移する中、LED照明関連製品が大

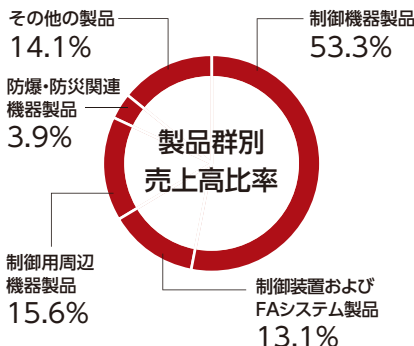
## ■ 製品別の概況

当第2四半期は、急激な円高の進行による企業収益悪化の懸念が強まる一方で、東日本大震災の影響による生産活動の停滞から徐々に持ち直しの傾向が見られました。こうした中、国内外の設備投資需要は全般的に増加基調で推移しました。

当社グループにおきましては、製品別では、省エネ対策の追い風を受けてLED照明関連製品が大きく伸長し、またプログラマブルコントローラやプログラマブル表示器などの制御装置も堅調に推移しました。

さらに、主力の制御用操作スイッチやリレーなどの制御機器製品は国内外ともに堅調に推移しました。

この結果、当第2四半期のグループ全体の売上高は、169億9千万円(前年同期比11.6%増)となりました。

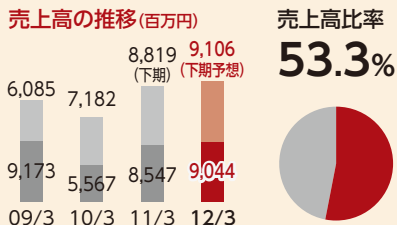


## 制御機器製品

売上高前年同期比 **5.8%増**

### 事業アイテム

HMI(人と機械がふれあう環境)の核となる盤面機器「制御用操作スイッチ」「表示灯」や、現場の安全システムを実現する「安全関連製品」のほか、「タイマ」「リレー」「サーキットプロテクタ」「センサ」ならびに「産業用LED関連製品」などの製品群です。



### ■ 制御機器製品の概況

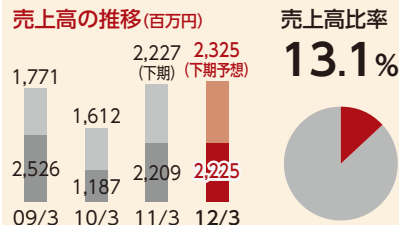
国内外ともに、主力の制御用操作スイッチ、リレー、安全関連製品の売上が堅調に推移しました。また、産業機器や工場内照明のLED化にともない、産業用LED照明ユニットも伸長しました。この結果、売上高は90億4千4百万円(前年同期比5.8%増)となりました。

## 制御装置およびFAシステム製品

売上高前年同期比 **0.7%増**

### 事業アイテム

機械・装置の頭脳役をする「プログラマブルコントローラ」や、人と機械の対話機器「プログラマブル表示器」「ペンダント」、パネル標準化を実現する「シグマパネル」のほか、「伝送システム」「バーコードリーダー」などの製品群です。



### ■ 制御装置およびFAシステム製品の概況

主要製品であるプログラマブルコントローラが、主要販売先である欧州・北米地域において堅調に推移しました。また、国内外ともに、昨年度発売した大型プログラマブル表示器が大きく伸長しました。この結果、売上高は22億2千5百万円(前年同期比0.7%増)となりました。



# 大きく伸長。

## 制御用周辺機器製品

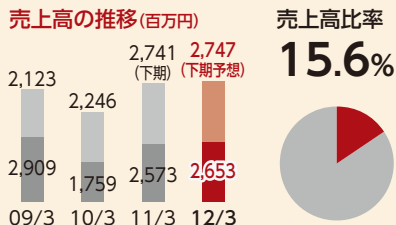
売上高前年同期比 **3.1%増**

### 事業アイテム

機械・装置などの制御部分のベーシックな機器「スイッチング電源」「通信ターミナル」「端子台」「ソケット」「コントロールボックス」などの製品群です。



▲スイッチングパワーサプライ PS3X形



### ■ 制御用周辺機器製品の概況

前第2四半期は低調に推移した汎用コントロールボックスや端子台が、主に国内において伸長しました。電源については、スイッチング電源は国内外ともに堅調な足取りで伸長しました。この結果、売上高は26億5千3百万円(前年同期比3.1%増)となりました。

## 防爆・防災関連機器製品

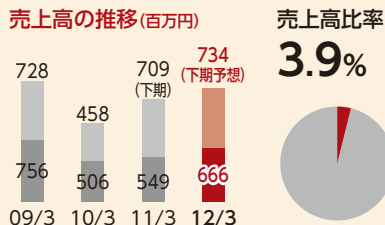
売上高前年同期比 **21.3%増**

### 事業アイテム

石油・化学プラントはもちろん、一般工場など、爆発性のガスが存在する現場での事故を未然に防ぐ「本質安全防爆機器」「耐圧防爆機器」「内圧防爆機器」「安全増防爆機器」などの製品群です。



▲(左)タッチスイッチ付表示器 EX4R形  
(右)コントロールボックス EC2B形



### ■ 防爆・防災関連機器製品の概況

前第2四半期は低調に推移した本質安全防爆機器が堅調に伸長しました。この結果、売上高は6億6千6百万円(前年同期比21.3%増)となりました。

## その他の製品

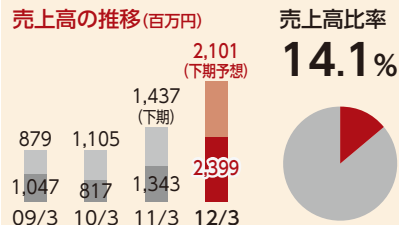
売上高前年同期比 **78.7%増**

### 事業アイテム

HMI(人と機械がふれあう環境)をトータルな視点から考え、最適環境を提案・構築する融合型製品群で、「セキュリティ製品」や「商業用LED照明」、環境問題を解決する装置である「微細気泡水製造装置」などが含まれます。



▲LEDベースライト LG1E/LG1F形



### ■ その他の製品の概況

当第2四半期においても引き続き、コンビニエンスストアをはじめとする店舗やオフィス照明用途における、LED照明関連製品の売上が大きく伸長しました。また、店舗用オーダーリングシステムなども伸長しました。この結果、売上高は23億9千9百万円(前年同期比78.7%増)となりました。

# 日本国内が順調に回復、海外は引き続き中国が牽引し、アジア・パシフィック地域が堅調に推移。

## ■ 地域別の概況

当第2四半期は、中国を中心としたアジア地域は堅調に推移しましたが、欧州地域では財政問題の深刻化の影響などにより、不透明感が増す状況となりました。

そうした中、国内においては震災復興により制御機器製品群を中心に需要が回復し、注力製品であるLED照明関連製品などが急速に伸長しました。また、海外においては、注力エリアである中国を中心としたアジア・パシフィック地域が伸長しました。

この結果、当第2四半期の国内売上高は、111億2千9百万円(前年同期比17.1%増)、海外売上高は、58億6千1百万円(前年同期比2.5%増)となりました。

国内 **65.5%**  
**11,129**百万円  
前年同期比 **17.1%増**

海外 **34.5%**  
**5,861**百万円  
前年同期比 **2.5%増**

## Japan

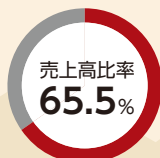
主力製品である制御用操作スイッチ、端子台、安全関連製品を中心に、回復基調で推移しました。また、省エネ対策の追い風を受けてLED照明関連製品などが急速に伸長しました。



産業用LED照明 LF1D形



プログラマブル表示器 HG3G形



売上高の推移(百万円)

2011/9	<b>11,129(上期)</b>
2011/3	9,504   10,405(下期)
2010/3	6,072   8,200
2009/3	10,462   7,784

## Asia / Pacific

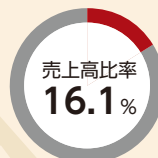
販売重点エリアである中国市場においては前期より引き続き、制御用リレー、制御用操作スイッチなどが大きく伸長しました。また、その他のアジア地域においても、堅調に推移しました。



アジア市場向けスイッチ YWシリーズ



スリムパワーリレー RJシリーズ



売上高の推移(百万円)

2011/9	<b>2,737(上期)</b>
2011/3	2,483   2,412(下期)
2010/3	1,487   1,766
2009/3	2,313   1,310

## North America

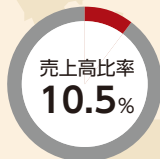
制御用操作スイッチ、プログラマブル表示器、プログラマブルコントローラなどが伸長しましたが、大幅な円高や米国での景気停滞の影響などにより、いずれの製品群も低調な推移となりました。



ユニバーサルリレー RJシリーズ



スイッチング電源 PS5R-S形



売上高の推移(百万円)

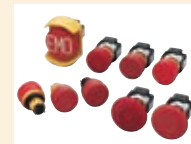
2011/9	<b>1,789(上期)</b>
2011/3	1,914   1,820(下期)
2010/3	1,560   1,710
2009/3	2,468   1,608

## Europe

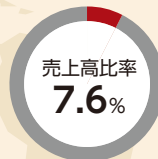
制御用操作スイッチが含まれる制御機器製品群や、プログラマブルコントローラが含まれる制御装置およびFAシステム製品群の需要が好調に推移しました。また、安全関連製品は前期に引き続いて堅調に推移しました。



小型プログラマブルコントローラ FC5A形



非常停止用押しボタンスイッチ XAシリーズ



売上高の推移(百万円)

2011/9	<b>1,294(上期)</b>
2011/3	1,283   1,255(下期)
2010/3	693   887
2009/3	1,124   855

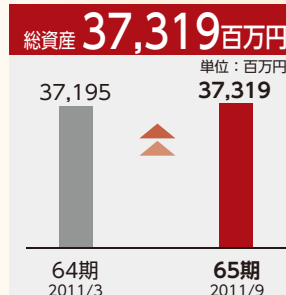
## 連結計算書類のポイント解説

### 連結貸借対照表のポイント

(単位:百万円)

科目	当第2四半期末	前会計年度末	前会計年度末との増減
流動資産	20,872	21,278	△ 406
固定資産	16,446	15,917	529
流動負債	10,037	10,153	△ 115
固定負債	2,023	1,786	237
純資産	25,257	25,255	2
総資産	37,319	37,195	123

### 総資産は1億2千3百万円の増加(前期末比)



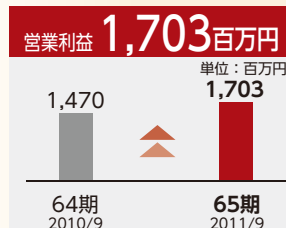
前期末に比べて、売上債権の減少などにより流動資産が約4億6百万円減少しましたが、土地・建物の取得などにより固定資産が約5億2千9百万円増加しました。これにより総資産は約1億2千3百万円の増加となりました。負債の部は、仕入債務および未払税金の増加により、前期末と比べて1億2千1百万円の増加となりました。

### 連結損益計算書のポイント

(単位:百万円/%)

科目	当第2四半期累計期間	前第2四半期累計期間	増減	前年同期比	通期業績予想
売上高	16,990	15,223	1,766	111.6	34,000
営業利益	1,703	1,470	232	115.8	4,000
経常利益	1,573	1,238	335	127.1	3,900
四半期純利益(当期純利益)	1,077	800	276	134.6	2,400

### 営業利益は2億3千2百万円の増加(前年同期比)



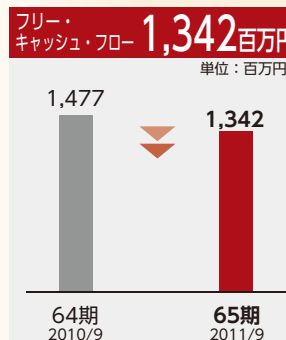
営業利益は、増収効果および固定費負担の軽減により、前年同期比15.8%増の1億703百万円となりました。売上原価率は、原価低減の取り組みを継続して実施していますが、急激な円高の影響と原価率の高い製品・地域への販売構成がより高まったことが影響し、55.9%となりました。

### 連結キャッシュ・フロー計算書のポイント

(単位:百万円)

科目	当第2四半期累計期間	前第2四半期累計期間	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,091	1,169	922
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 748	308	△ 1,057
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 553	△ 897	343
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 414	△ 370	△ 44
現金及び現金同等物の増減額	373	210	163
現金及び現金同等物の期首残高	7,639	6,654	984
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,013	6,864	1,148

### フリー・キャッシュ・フローは13億4千2百万円の収入



営業活動によるキャッシュ・フローは増収増益により、20億9千1百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主として土地・建物の取得などにより、7億4千8百万円の支出となりました。

# 2011年4月～2011年9月の主なトピックスをご紹介します。

■ 電設工業展に出展

■ 第64期定時株主総会開催

■ 滝野事業所LED照明化  
マスコミ発表会を開催

■ IDEC社員の家族向けイベント  
「IDEC子ども参観日」を開催

■ 台湾国際自動化大展に出展



4月

5月

6月

7月

8月

9月

■ 集光/拡散照光、各種取付金具、点灯スイッチ付きなど使いやすさを追求した耐圧防爆構造のLED照明器具EF1A形発売



防爆・LED製品

■ 業界最短胴・分離形、φ16mm小形コントロールユニット「LBシリーズ」発売



機器製品

■ 業界最高レベルの極微細気泡を連続かつ安定して生成できるFZ1N-02形極微細気泡発生装置発売



ナノバブル

■ 工場の自動生産システムに最適な小型垂直多関節ロボット用MH1A形マルチハンドベースユニット発売



マルチハンド

■ 「餃子の王将」様、「タリーズコーヒー」様にLED照明続々採用



店舗照明用LED電球

レンジフード用LED照明ユニット



LED照明

## PICK UP! LED照明キャラバンカー、全国を駆ける!

IDECでは中期経営計画の重点項目である「LED事業の拡大」施策の一環として、各種LED照明を満載したLED照明キャラバンカーを製作。オフィスの地下駐車場や工場の駐車場など、お客さまのもとを直接訪問し、IDECのLED照明を身近に体感していただく活動を行っています。

昨年10月から活動を開始したLED照明キャラバンカー・1号車は「オフィス・ショップシーン」をメインに展示し、これまで150箇所以上のお客さまを訪問しました。さらにこの8月には、お客さまの「産業用LED照明を身近で見学したい」という強い要望にお応えし、LEDキャラバンカー・2号車「産業用LED照明キャラバンカー」が完成しました。この2号車では産業機器内LED照明から工場全体LED照明・防爆LED照明、調

光制御機器の数々を身近に体感していただけるよう、「工場全体LED照明、防爆LED照明シーン」「産業機器内LED照明シーン」の展示を行っています。

また、いずれの車両もドア開口部の上部に暗幕を吊るることにより、外部光の遮断と産業現場空間を演出し、より現実に近い形でのソリューション提案が可能となっています。

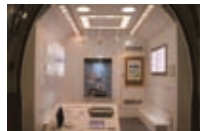
これら2台のキャラバンカーの活躍で、IDECのLED照明“LUMIFA”ブランドのさらなる認知度アップが期待されます。



▲LED照明キャラバンカー・2号車



▲産業機器内LED照明シーン



▲オフィス・ショップシーン



▲工場全体LED照明、防爆LED照明シーン

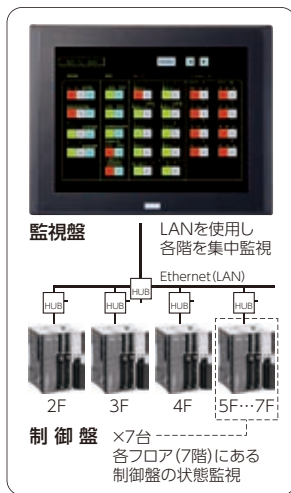
## こんなところにIDEC

### 【既存設備を活かしながら、ビル管理の省力化に貢献】

今回は、八重洲鹿島ビル(八重洲ブックセンター)での空調管理システムにご採用いただいた事例をご紹介します。

お客さまは建物内設備機器の機器発停、状態、故障、警報監視などに使用している老朽化した中央監視盤を、よりコンパクトで低コストな盤に更新したいとのご要望をお持ちでした。

そのようなお客さまのご要望にお応えするため、ネットワークを経由して設備機器の状態を監視できるようWebサーバー対応のプログラマブルコントローラ\*(FC5A形)と、各階の状態を一目で確認できるプログラマブル表示器(HG3G形)を組み



合わせたシステムをご提供しました。

今後も当社が有する幅広い制御コンポーネントと総合技術力を武器に、さまざまなシーンでのお客さまの課題解決をお手伝いしていきます。

\*プログラマブルコントローラ(PLC)とは、小型のコンピューターの一つで、装置や操作盤などの設置された入力機器からの信号を認識して、あらかじめプログラムされた条件で動作することにより、さまざまな出力機器を制御する制御機器です。



八重洲鹿島ビル  
(八重洲ブックセンター)

### 【ご採用いただいたポイント】

- トータル提案による低コストの実現  
(プログラマブルコントローラ(FC5A形)、プログラマブル表示器(HG3G形)、サーキットプロテクタ(NC1V形)、スイッチング電源(PS5R形)などトータルでご提案)
- 高いメンテナンス性、クラス最高輝度の明るさ、起動速度の速さなどの製品性能
- システム構成、プログラムなど細やかなサポート

### 【営業担当者の声】

今回は、お客さまのニーズに合致するかたちで個々の製品の良さをご理解いただき、トータルでご提案ができました。今後もお客さまとの関係を大切にしながら、当社製品を活用したソリューションで、さまざまな課題解決に寄与していきます。



制御コンポーネント営業本部  
東日本営業部 向 裕次郎

### ■お客さまのご紹介



今回のシステムを使用されている鹿島建物総合管理(株)様は、建物の使命を永続的に活かす「建物総合管理の時代」の到来を見据え、設立以来、ゼネコンのノウハウを活かした確実な技術とヒューマンウェアの両立を目指した「Heart & Technology」をキーワードに建物管理を行い、安全で快適な環境づくりに貢献されています。

### ■ご採用いただいた製品のご紹介

#### プログラマブル コントローラ (FC5A形)

クラス最速の処理速度を実現。Webサーバー機能、温度制御機能などを備え、さまざまなユーザーニーズやアプリケーションに対応する小形プログラマブルコントローラ、MICROSmartシリーズです。



## IDECグループ

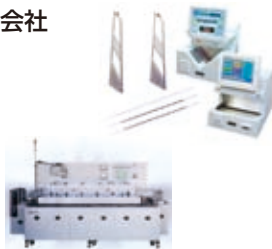
会社名(所在地)	主な事業内容	会社名(所在地)	主な事業内容
アイデックコントロールズ株式会社(大阪府)	セキュリティ・封止システムの販売	IDEC IZUMI ASIA PTE LTD.(シンガポール)	制御機器の販売
IDECロジスティクスサービス株式会社(兵庫県)	制御機器の醸装組立・物流業務受託	台湾愛徳克股份有限公司(台湾)	制御機器/部品の製造・販売
IDECエンジニアリングサービス株式会社(愛知県)	制御機器の販売・エンジニアリング	台湾和泉電気股份有限公司(台湾)	制御機器の販売
IDEC DATALOGIC 株式会社(大阪府)	制御/自動認識機器の輸入・販売	蘇州和泉電気有限公司(中国)	制御機器/部品の製造・販売
IDEC CORPORATION(米国)	制御機器の製造・販売	IDEC HONG KONG CO.,LTD.(香港)	持株会社
IDEC CANADA,LTD.(カナダ)	制御機器の販売	IDEC IZUMI(H.K.)CO.,LTD.(香港)	制御機器の販売
IDEC Australia Pty.Ltd.(オーストラリア)	制御機器の販売	愛徳克電気貿易(上海)有限公司(中国)	制御機器の販売
IDEC Elektrotechnik GmbH(ドイツ)	制御機器の販売	和泉電気自動化控制(深圳)有限公司(中国)	制御機器の販売
IDEC Electronics Limited(英国)	制御機器の販売	和泉電気(北京)有限公司(中国)	制御機器の販売

### 国内グループ会社紹介

#### アイデックコントロールズ株式会社

<http://www.idec-controls.com/>

個別認識技術や自動化設備技術などの専門技術の組み合わせにより、FA向け封止システムや、図書館向けセキュリティシステムを国内外に提供しています。



図書館向けセキュリティシステム(上)  
FA向け封止システム(下)

#### IDECエンジニアリングサービス株式会社

<http://www.idec-eng.com/>  
Eコマースサイト:  
<http://www.fadirect.net/shop/>

“よりお客さまに近いところ”で最適なプロダクトミックス、制御エンジニアリング機能をもって、お客さまの幅広いご要望に対応しています。



本社(名古屋市中区) ※2011年10月東京営業所開設

#### IDEC DATALOGIC 株式会社

<http://www.idljp.com/>

お客さまの「安心」「安全」を実現するため、さまざまな自動認識機器を取り揃え、お客さまに最適なトレーサビリティシステムの構築をサポートしています。



固定式バーコードリーダ(上)  
ハンディバーコードリーダ(下)

#### IDECロジスティクスサービス株式会社

IDECグループの物流機能、流通加工を担い、お客さまへのスピーディーかつタイムリーな当社製品のご提供をバックアップしています。



竜野物流センター(兵庫県たつの市)

## 会社概要

社名 IDEC株式会社  
 英文社名 IDEC CORPORATION  
 設立 1947年3月26日  
 資本金 10,056,605,173円  
 従業員数 連結1,968名  
 ※特定社員・臨時社員含まず

上場取引所 東京証券取引所第1部  
 大阪証券取引所第1部

本社 〒532-8550  
 大阪市淀川区西宮原1丁目7番31号  
 電話06-6398-2500(代表)

東京本社 〒108-6014  
 東京都港区港南2丁目15番1号\*  
 品川インターシティA棟14階  
 電話03-5782-7690(代表)

技術研究センター アイデック技術研究センター  
 セールスオフィス IDEC SALES OFFICE

事業所 大阪 (工場) 筑波、京都、福岡、滝野

営業所 札幌、仙台、高崎、宇都宮、大宮、水戸、東京、多摩、  
 横浜、三島、松本、新潟、富山、金沢、浜松、豊田、  
 名古屋、京都、大阪、岡山、福山、広島、四国、  
 北九州、福岡、熊本

物流センター 浜松、竜野

## 株式総数および株主数

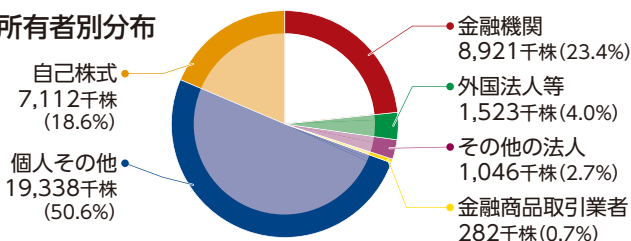
- 発行可能株式総数…………… 150,000,000株
  - 発行済株式の総数…………… 38,224,485株 (注)
  - 単元株式数…………… 100株
  - 当第2四半期末株主数…………… 12,160名
- (注) 買取、買増請求への対応などにより、2011年9月30日現在の自己株式保有株数は7,112,922株となっています。

## 大株主(上位10名)

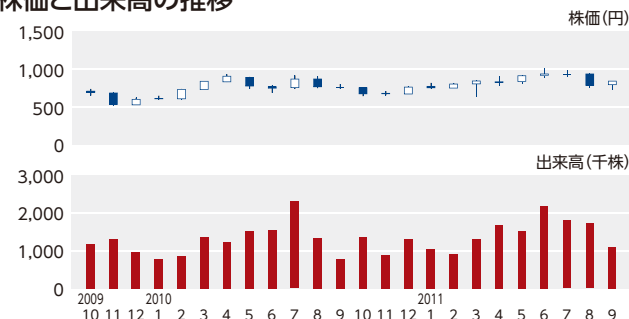
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	2,510	6.57
株式会社みずほ銀行	1,312	3.43
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	1,268	3.32
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,124	2.94
日本生命保険相互会社	1,029	2.69
資産管理サービス信託銀行株式会社	903	2.37
船木俊之	839	2.20
藤田慶二郎	773	2.02
船木幹雄	626	1.64
船木恒雄	607	1.59

(注) 上記大株主の記載は、四半期報告書の開示内容に準じています。

## 所有者別分布



## 株価と出来高の推移






**■ 新東京本社(品川インターシティ)**  
 \* 東京本社は、2011年10月11日にリバーージュ品川から品川インターシティへ移転しました。

東京本社外観

受付風景

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日までの1年

配当金受領株主 期末配当金 3月31日

確定日 中間配当金 9月30日

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
事務取扱場所

お問い合わせ先 0120-094-777(通話料無料)

公告の方法 電子公告により行います。  
<http://www.idec.com/japan/lr/Koukoku/>  
ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載します。

- 株主さまの住所変更、買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座開設機関(証券会社等)にお問い合わせください。
- なお、特別口座に記録された株主さまに関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。

## お知らせ

『アニュアルレポート 2011』を発行しました。

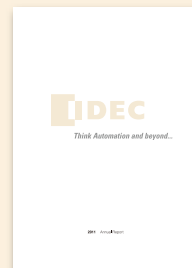
IDECグループの事業内容などをより身近に感じていただけるように、さまざまなコンテンツを掲載しています。ぜひご一読ください。

ホームページ ([http://www.idec.com/jp/ja/investor\\_center/finance/annual\\_reports/index.html](http://www.idec.com/jp/ja/investor_center/finance/annual_reports/index.html))でも公開していますが、冊子をご希望の方は、お手数ですが下記までお問い合わせください。

IDEC 株式会社 経営管理部 経営企画グループ

電話：06-6398-2550

e-mail：ir@idec.co.jp



和泉電気からIDEC(アイデック)へ

## IDEC株式会社

〒532-8550 大阪市淀川区西宮原1丁目7番31号

TEL:06-6398-2500(代表)

URL:<http://www.idec.com/japan/>



この冊子はユニバーサルデザイン(UD)書体を使用し、弱視・老眼等視力の低下にお悩みの方にも読みやすいよう配慮をしています。

経済産業省から、製品安全対策優良企業特別賞に表彰されました。